平成 26 年度　第３回 金沢市介護保険運営協議会	資料５
平成 27 年 2 月 23 日	

地域包括支援センター専門部会からの報告事項

（平成２６年度 第１回 地域包括支援センター専門部会　報告）

１．平成２６年度実地調査結果について

地域包括支援センターの適正な運営を確保するため、職員配置、高齢者虐待への対応など、１５項目についての実地調査の結果について報告を受けるとともに、事業評価を実施した。

（結果の概要）

- すべての地域包括支援センターとも、概ね適正な運営が確保されていた。
- 職員配置状況については、近年、職員の欠員が複数のセンターで見受けられていたが、平成２６年度は全センターで欠員なく配置されていた。
- ケアマネジャー・多職種との連携強化、地域でのネットワークの構築、地域ケア会議開催、認知症サポーター養成講座の開催等が重点的に取り組まれていた。
- 支援困難ケースの傾向として、認知症、介護力不足、家族関係の問題、キーパーソンの不在、拒否等により支援につながりにくい、近隣とのトラブルなどがあげられ、家族単位での支援が必要なケースもあり、件数も増加している。

２．地域包括支援センターの体制強化について

認知症の高齢者や一人暮らし高齢者世帯の増加、相談内容の多様化・処遇困難ケースの増加に対応するため、職員体制の強化や関係機関との連携強化、地域での認知症施策の推進など、地域包括支援センターの体制強化を引き続き行う必要があることを確認した。

３．金沢市地域ケア会議について

平成２６年度は、金沢市における地域ケア会議の運営を標準化するため、金沢市地域包括支援センター連絡会の地域ケア会議実務担当者部会で記録様式や運営マニュアル等の検討を行うとともに会議進行や地域課題の捉え方などを習得するための研修会を開催した。